



森林環境税

いいこと
ききたいこと
しりたいこと

山ほど 語る

語るひと

梶原和紙作家

ロギール

アウテン

ボーガルト

さん

参加無料
申込不要

2016

KOCHI

森の県民

シンポジウム

森林環境税 どうするが？

11月26日 土 13:30-16:30

高知県立高知追手前高等学校 芸術ホール

高知市追手筋 2-2-10

基調講演:ロギール アウテンボーガルト (梶原和紙作家)
山ほど語るディスカッション

コーディネーター:塩田 正興さん(木と人・出会い館 館長)

パネリスト:中川 睦雄さん(こうち森林救援隊 事務局長)/植村 和暢さん(工房刻屋 木工職人)/堂本 真実子さん(若草幼稚園 園長)/熊谷 猛男さん(熊谷ファーム 代表)

森林率ニッポンイチ

主催 高知県

いいたいこと
ききたいこと
しりたいこと

山ほど語る!

高知県の84%を占めるこの山を守り、豊かな森を育てる、その山や森に親しむために私たち県民に何ができるのか。その一つの方法として森林環境税がありました。森林率日本一の高知県が、平成15年、日本で初めて導入した山のための税金です。

これは私たち県民一人ひとりが、毎年500円ずつ支払っていくというものの。平成27年度の税収額は約1億7千万円となっています。こうしたお金がどのように使われているのか、役立てられているのか。何を守り、何を救っているのか。そして平成30年度以降の森林環境税のあり方、その理解や賛同を得ていくためにも、今、山とマチ、県と県民がお互いに聞きたいこと、聞いてもらいたいこと、知りたいこと、知ってもらいたいこと、言いたいこと、語りあいたいことが、それこそ「山ほど」たくさんありそうです。

1

語るひと

栲原和紙作家

ロギール

アウテンボーガルトさん

「伝統手漉き和紙からのメッセージ」



オランダ生まれ。土佐の匠。1980年来日。原料栽培からの伝統手漉き和紙のほか、オリジナル手漉き紙も制作。栲原町にて紙漉き体験民宿「かみこや」を運営。

2

山ほど語るディスカッション

「森の恵みを未来へつなぐ」

森林の荒廃を防ぎ、森を活かすには。森林を守り、楽しむには。木を使い、身近に感じるには。これからの森林環境税のあり方について、各分野のパネリストを招き語ります。

コーディネーター

塩田 正興さん

木と人・出会い館 館長

元高知放送アナウンサー。高知県の豊かな森林資源である県産材を使った木の家の普及に努めている。



パネリスト

中川 睦雄さん

こうち森林救援隊 事務局長

林業の再生のために、木材の搬出と利用促進を基本に森林整備活動を行っている。



植村 和暢さん

工房刻屋 木工職人

須崎市に構える工房で、無垢の木と天然塗料を使い、シンプルかつ上質な木工家具、クラフトを制作。



堂本 真実子さん

若草幼稚園 園長

子どもの感じる心を確かな学びへとつなげて「すくすくの森」で、生きる力を育む保育を実践。



熊谷 猛男さん

(株)熊谷ファーム 代表

鳥獣による被害拡大を防ぐため、趣味の狩猟を社会に貢献できるビジネスにと起業。



プログラム

- 13:30 開会
- 13:40 基調講演
- 14:30 休憩
- 14:45 山ほど語るディスカッション
- 16:30 閉会

森林環境税の
使い道は
どのくらいあるの。

高知は
日本一の
森林県やきね

森の大切さを
伝えるために

高知の森の
これから
どうなるか?

私達環境が
SEI
環境を
守るために

森林環境税は
こんなことに
使われています!

●森林の荒廃を防止するための人工林の間伐 ●森林や希少野生植物などをシカの食害から守る取り組み ●県民みんなで森林や山を守る「こうち山の日」の取り組み ●小中学校などが行う森林環境学習・森林ボランティア団体活動への支援など

森林環境税に関する県民のみなさんのご意見をお寄せください!

E-mail sirin@nanpo-sa.co.jp

FAX 088-823-5615

南放セーラー広告(株) 森の県民シンポジウム係

この事業は、高知県から委託を受けて実施しています。